

令和3年度 香南市人生支援計画数値目標及びKPI評価書

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下により4段階評価で実施

区 分	評 価 基 準
A	数値目標（KPI）の達成率が100%以上
B	数値目標（KPI）の達成率が60%以上100%未満
C	数値目標（KPI）の達成率が60%未満
*	数値目標を持つことが不適切

幼年期 … P2 ～ P4

就学期 … P5 ～ P8

成年期 … P9 ～ P12

熟年期 … P13 ～ P14

高齢期 … P15 ～ P17

人生の期別	幼年期(生まれてから小学校就学前)
基本方針	誰もが安心して子どもを生み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを推進します。

★目標 妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進											
1	パパママ教室参加率【成年期No.34同指標】	年度	H30(基準値)	R1(参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	13.2%	13.4%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%	B	【設定根拠】 香南市母子保健事業計画書
		実績値	20.8%	17.4%	18.5%	15.9%					
	達成(評価)(C)	A	A	B	B						
事業内容(D)	◆妊娠期と授乳期の栄養、出産準備、産後の生活、出産前後の身体の変化、母乳栄養、沐浴体験などを教室で実施。安心して妊娠・出産・育児ができるように支援。また、妊婦同士の交流や、父親の役割を考える機会ともなり父親の育児参加の支援の場にもなっている。										
現状と課題(C)	母子健康手帳交付時や妊娠中期の個別通知にて開催案内をした。コロナウイルス対策として定員8組で実施。申し込み多数により教室開催数を2回分増加し、教室を8回(7・11分は2回)、個別対応を4回実施した。年度当初・年度末は参加者数少なく、コロナウイルスの感染拡大の影響が考えられる。				今後に向けた具体的な取組(A)			働く妊婦や夫等多くの方に参加してもらえるように、平日午後・休日開催を継続し、休日開催数を増やす。教室の実施評価・参加者への事後フォローに活用するために新たにアンケートを作成する。			

★目標 親と子の心と体の健康づくり											
2	この地域で子育てをしたいと思う親の割合(1歳8か月健診)	年度	H30(基準値)	R1(参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	A	【設定根拠】 香南市母子保健事業計画書
		実績値	95.0%	96.5%	97.0%	98.5%					
	達成(評価)(C)	-	-	A	A						
事業内容(D)	◆1歳8か月健診を受診される保護者の思いを確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげこの地域で子育てしたいと思う家族を増やせるようにしていく。										
現状と課題(C)	安心して健診を受けられるよう、健診を複数の部屋に分散することや待合を椅子に変更するなど、感染症対策を実施。健診来所者へのアンケートも実施し、記入内容から健診のあり方の振り返りを行った。感染症対策として中止している、フッ素塗布などの再開について感染状況を見ながら検討が必要。				今後に向けた具体的な取組(A)			コロナウイルス感染症対策を取りながら育児不安の解消など必要な支援を行っており、今後も感染症対策を行いながら家庭や保護者の状況等を考慮しながら個別対応をしていく。			
3	ゆったりとした気分で子供と過ごせる時間がある母親の割合(1歳8か月健診)	年度	H30(基準値)	R1(参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	A	【設定根拠】 香南市母子保健事業計画書
		実績値	73.8%	73.2%	80.8%	80.3%					
	達成(評価)(C)	-	-	A	A						
事業内容(D)	◆1歳8か月健診を受診される保護者の思いを確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげ楽しくゆったりとした気持ちで子育てできる母親を増やせる環境を整える。										
現状と課題(C)	安心して健診を受けられるよう、健診を複数の部屋に分散することや待合を椅子に変更するなど、感染症対策を実施。健診来所者へのアンケートも実施し、記入内容から健診のあり方の振り返りを行った。感染症対策として中止している、フッ素塗布などの再開について感染状況を見ながら検討が必要。				今後に向けた具体的な取組(A)			コロナウイルス感染症対策を取りながら育児不安の解消など必要な支援を行っており、今後も感染症対策を行いながら家庭や保護者の状況等を考慮しながら個別対応をしていく。			
4	乳児訪問対応割合	年度	H30(基準値)	R1(参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	B	【設定根拠】 香南市母子保健事業計画書
		実績値	97.5%	98.6%	98.6%	95.3%					
	達成(評価)(C)	B	B	B	B						
事業内容(D)	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を保健師が産後早期(生後28日未満)に訪問し、子どもの発育状況や母親の健康状態を確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげ、乳児の健全な生育環境の確保に努める。										
現状と課題(C)	出生届確認後速やかに連絡をとり、できるだけ新生児期(生後28日未満)の訪問率をあげるよう取り組んでいる。訪問率は100%ではないが、来所面接等で全ての母子に面接しており、未把握児は0である。地区担当保健師の訪問と合わせて、産後ケア事業を実施することもあり、できるだけタイムリーに相談対応できる体制を整えている。里帰り出産や長期入院の場合には新生児期を過ぎた訪問となるが、早期に連絡をとり、電話での相談対応や情報提供、必要なサービスや機関へつなげるようにしている。				今後に向けた具体的な取組(A)			引き続き、保健師が全数を対象とし新生児訪問と兼ねて「こんにちは赤ちゃん事業」を実施する。また、未熟児訪問については助産師による同行訪問により、より専門的な相談に対応できる体制を整えている。産後うつなど産後の心身の不調の予防の視点を持ち、必要な連携や支援へつなげていく。			

	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課・生涯学習課・こども課
		(基準値)	(参考値)							
5	育児教育相談利用件数(延)	562人	562人	650人	270件	270件	270件	270件	*	【設定根拠】 H26からの5年平均603人から周知による増加を見込む
	目標値(P)	562人	562人	650人	270件	270件	270件	270件		
	実績値	723人	636人	527人	197件					
	達成(評価)(C)	A	A	B	*					
事業内容(D)	<p>◆こども相談室は、関わってきた相談者が成長したことや十分なカウンセリングを行うなど一定の役割を終えたことによりR3.3で廃止。ほのぼの相談は、様々な悩みや不安を抱えている小中学校保護者を対象に、森田村塾で月2回3時間程度開催。また電話・メールでの折り返し対応を実施。R3.7新設の子育て・教育相談は、保幼小中の他、高校、卒業生、家族等を対象に、ふれあいセンターで1回4時間(4件)、9月以降月2回開催。子育て支援センター「にこなん」での相談は、未就学児に関して来所・電話で常時実施。 ※R3～該当事業変更及び人数から件数へ変更:ほのぼの相談来所12件、電話メール26件、子育て・教育相談58件、にこなん101件(うち出張広場6件) ※指標の性質上、相談が多ければ良いというものではなく、相談窓口(手段)を広げ、その内容に対応できる環境づくりを目指している。 ※R3年度から指標を「利用者数(延)」から「利用件数(延)」に改める。(ほのぼの相談は家族で相談した場合には人数でカウントしていたため)</p>									
現状と課題(C)	ほのぼの相談は、相談員の交代、相談日の回数、対応時間の変更と、指標を人数から件数に改めたことで、実績件数としては減少した。子育て・教育相談は新設されたばかりであるが周知を図っており認知されてきた。子育て支援センターでの相談内容は食事、就園、育児に関するものが多く、悩みはあるものの、相談窓口があることを知らない、あるいはよくわからないという保護者もいると考えられ、今後も周知が必要。			今後に向けた具体的な取組(A)			ほのぼの相談は小学校の保護者の相談が多いので、中学校にも呼びかけを行い、保護者の負担の軽減を図っていく。ほのぼの相談の内容を定期的に案内し、窓口を知らない方への周知も積極的に行っていく。また、「にこなん」では、これまでの子育て相談に加えて、子ども発達相談など充実させ支援を継続し、更に関係機関へつなげるため利用者支援事業にも取り組む。			
★目標 子どもと子育て家庭に優しい環境づくり										
6	地域子育て支援センター利用者数	9,000人	9,000人	10,800人	10,800人	10,800人	10,800人	10,800人	B	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画のH33年度末目標数値は7000人以上であるが、実態を考慮し増加を見込む
	目標値(P)	9,000人	9,000人	10,800人	10,800人	10,800人	10,800人	10,800人		
	実績値	8,436人	11,175人	10,197人	10,573人					
	達成(評価)(C)	B	A	B	B					
事業内容(D)	<p>◆総合子育て支援センター「にこなん」及び広場4ヶ所では、妊婦や0歳から就学前の子どもと保護者等を対象に、育児相談や交流の場の提供、子育て関連情報の提供などの子育て支援を行っている。 ◆保健師との連携により、健診等で気になる親子への支援センター利用を促し、親子が孤立したりしないように、いつでも相談できる支援者の存在を知ってもらう。 ◆子育て支援の各種行政サービスや地域の子育てに関する情報を冊子にまとめた「香南市子育てガイドブック」を作成。また、ホームページで子育て情報を発信し、合わせて、登録した子育て世帯へメール配信等で、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供していく。</p>									
現状と課題(C)	コロナ禍で警戒レベルに合わせた対象者や利用人数の制限をしたうえで開所であったにも関わらず、目標値を大きく下回ることにならなかった。乳幼児と父親が一緒に利用するケースも増えており、利用周知が図られていると感じる反面、利用に至っていない保護者もいると考えられるため、今後も情報発信を高めていく必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			就学前の保護者の子育てに対する不安感や悩みを軽減し、子育てに活かしていただけるよう、スマートフォンアプリ等の情報発信ツール「LINE」で情報発信し、「子育てキッズ」サイトの周知を図る。また、リニューアルした子育てガイドブックを無料印刷(業者と調整中)、配布することで「にこなん」利用者の増加につなげていく。			
7	保育所の一時預かり数(延)	838人	838人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	B	【設定根拠】 第2期子ども・子育て支援事業計画の量の見込みは1200人前後であるが、実態を考慮し増加を見込む
	目標値(P)	838人	838人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人		
	実績値	1,229人	1,470人	1,347人	1,087人					
	達成(評価)(C)	A	A	A	B					
事業内容(D)	<p>◆保護者の病気等により、家庭において一時的に保育することが困難になった、満1歳から就学前までの子どもの一時預かりを3保育所(赤岡、香我美おれんじ、夜須)で実施している。利用日数は週3日を限度とし、出産・入院中は限度日数について相談に応じる。</p>									
現状と課題(C)	コロナの特別警戒レベルではリフレッシュでの利用を中止し、仕事、妊娠、病気の理由に限るなど利用制限を行ったため、利用者数は減っている。(延人数:赤岡284人、香我美おれんじ568人、夜須235人)			今後に向けた具体的な取組(A)			保護者のニーズに応えられるよう、受け入れ体制を整え、引き続き利用者の増加を目指していく。			
8	市のHP(子育て情報サイト)へのアクセス数	5,000回	6,000回	9,000回	9,000回	9,000回	9,000回	9,000回	A	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画のH33年度末目標数値は6000回以上であるが、実態を考慮し増加を見込む
	目標値(P)	5,000回	6,000回	9,000回	9,000回	9,000回	9,000回	9,000回		
	実績値	6,031回	9,063回	8,798回	10,390回					
	達成(評価)(C)	A	A	B	A					
事業内容(D)	<p>◆市ホームページで子育て情報を発信し、合わせて、登録した子育て世帯へメール配信等で、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供しているほか、子育て支援の各種行政サービスや地域の子育てに関する情報を冊子にまとめた「香南市子育てガイドブック」を作成し啓発している。</p>									
現状と課題(C)	いつでも情報入手できるHPへの期待が高まっており、R3にスマートフォンアプリ等の情報発信ツール「LINE」への対応、写真や動画による情報を増やすなど「香南キッズ」サイトの改修を行った。			今後に向けた具体的な取組(A)			スマートフォンアプリ等の情報発信ツール「LINE」へ対応するなど、「香南キッズ」のリニューアルをR3に行ったことを周知し、新規アクセス者を増やすとともに、関連する部署と連携し内容の充実を図っていく。			

9	こなんファミリーサポートセンター 会員数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	こども課
		目標値(P)	80人	110人	90人	100人	110人	120人	130人	A	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画のH33年度末目標数値は150人であるが、実態を考慮し年10人増
		実績値	74人	86人	102人	112人					
		達成(評価)(C)	B	B	B	A					
事業内容(D)	<p>◆子育て中の家庭を支援するため、子育ての援助をしてほしい会員(おねがい会員)と、子育ての応援ができる会員(まかせて会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を行う。 ※R2実績102人(内訳:おねがい会員65人、まかせて会員36人、両方会員1人)を基に、R3目標100人(内訳:おねがい会員55人、まかせて会員45人)に設定。 ※年間利用実績は、H30:168件、R1:352件、R2:154件、R3:243件(主に保育所幼稚園の送り24回、お迎えと預かり114回)</p>										
現状と課題(C)	R3年度末、おねがい会員70人、まかせて42人、両方会員0人。共働き家庭などのニーズは高まっているが、ボランティアのなり手が不足しており、まかせて会員数は伸び悩んでいる。また、マッチングに苦慮するケースや会員登録はしているものの活動にいたらない会員も多い。R3年度よりおねがい会員が初めて利用する際の利用料金を4時間まで無料とし、預かりに対する不安感の解消につなげ、利用促進を図っている。			今後に向けた具体的な取組(A)			今後も社会福祉協議会と協働し、子育てに関して経験豊富な保育士OBIに声かけを行うなど受け皿となるまかせて会員の確保に努める。また、感染予防対策を実施したうえで、子育て援助活動を継続していく。				

★目標 質の高い保育・教育の推進

10	本の読み聞かせ回数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	100回	100回	100回	100回	100回	100回	100回	C	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画後期計画
		実績値	102回	104回	52回	55回					
		達成(評価)(C)	A	A	C	C					
事業内容(D)	<p>◆読書ボランティア団体の支援も受けながら、積極的な読み聞かせを実施している。また、イベント時には大型スクリーンや音響設備を使つての読み聞かせを行うことで、参加者の興味をひく工夫を行っている。 野市図書館:週1回、香我美図書館:週1回、夜須図書館:未実施</p>										
現状と課題(C)	Withコロナ禍での読み聞かせ会の復活を最大限行い、本年度中にはコロナ禍以前の数値まで回復させる計画である。			今後に向けた具体的な取組(A)			イベントの開催復活などにより、イベントの中身に読み聞かせを取り入れ、参加者の拡大を図るべく取組中である。				
11	朝食摂取割合(3歳児)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	B	【設定根拠】 食育推進計画
		実績値	93.9%	96.5%	96.4%	93.9%					
		達成(評価)(C)	B	B	B	B					
事業内容(D)	<p>◆保育所・幼稚園では、食べる楽しさや食べ物のおいしさを知り、生活リズムの基礎や正しい食習慣を身につけ、食を楽しむ心を育てるような事業を実施し、子育て支援センターでは、食育講演会や試食等を通じて食を楽しむ心を育てている。 ◆家庭や保育所、幼稚園と連携した食育の取組み、食べることの楽しさや食への関心を高め、食を通じた体験などで食を楽しむ心を育てることの大切さを啓発する。また、幼児期からの望ましい生活習慣の改善に向け子どもの保護者向けに乳幼児健診等でのアドバイスを行っている。 ◆幼児健診時のアンケート調査で朝食を毎日食べている子ども(3歳児)の割合を算出。</p>										
現状と課題(C)	朝食を毎日食べている子どもの割合が減少し目標値に届いていない。朝食を欠食している家庭には、その背景を確認し保護者へのアドバイスを継続して実施していく。			今後に向けた具体的な取組(A)			乳幼児健診での栄養相談では個別相談により、一人一人にアドバイスを継続して実施する。また、保育所、幼稚園、食生活改善推進協議会、子育て支援センターなど関係機関と連携し、食育事業を実施する。				

★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり

12	ひとり親家庭医療費助成利用者数【就学期No.25同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	市民保険課
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-	-	*	【設定根拠】
		実績値	677人	676人	668人	611人					
		達成(評価)(C)	*	*	*	*					
事業内容(D)	<p>◆ひとり親家庭医療費助成事業:配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。 (参考) ◆児童扶養手当、母子家庭等自立支援事業(就労に結びつく資格を取得するための受講料や生活費の補助)がある。【全国一律】 ◆母子生活支援施設への入所委託事業がある。【全国一律】 ◆父または母と生活を共にしていない児童を養育している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助ける為の手当支給:DV被害者など児童のいる要保護者の入所支援・自立支援給付 ◆子育て短期・ショートステイ:子育てに疲れた時などに子どもを施設で預かり、保護者の精神面のフォローを行う。【全国一律】 ◆①ひとり親家庭医療費助成事業(保)②奨学資金貸与(学)③就学援助費支給(学)④特別支援教育修学奨励費(学)等に対し香南市寡婦(夫)控除のみなし適用を実施する。</p>										
現状と課題(C)	R2.4~児童扶養手当が市民保険課に移管されたことで、申請窓口・問合せ先が統一され、申請者の利便性が向上した。			今後に向けた具体的な取組(A)			課内での連携強化及び他課との連携を深め、必要な窓口適切につなげるよう手続きの一覧表の追加・修正を適宜行う。				

人生の期別	就学期(小学校から高校)
基本方針	豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。 また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

★目標 豊かな人間形成を育む環境づくり

13	スポーツ少年団の団体数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	28団体	28団体	29団体	29団体	29団体	30団体	30団体	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	26団体	26団体	27団体	25団体					
		達成(評価) (C)	B	B	B	B					
事業内容(D)	体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。										
	現状と課題(C)	R3は、野球、バレーボールの2団体が休部している。少子化が進む中、数あるスポーツ種目をほぼ網羅しておりニーズは満たされているため、維持できるよう努める。				今後に向けた 具体的な取組(A)	団体が継続して活動できる環境づくりとして体育館など活動場所や指導者などの確保、又、施設整備の改修を行う。				
14	スポーツ少年団の会員数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	610人	620人	610人	610人	610人	610人	610人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	532人	521人	440人	440人					
		達成(評価) (C)	B	B	B	B					
事業内容(D)	体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。										
	現状と課題(C)	団体数は2減しているが、加入団体別の人数は増減しており、部員数は昨年度と同様である。少子化や余暇活動の多様化等で会員数の減少が懸念される。				今後に向けた 具体的な取組(A)	スポーツ少年団員数維持の為に、関係団体等の広報活動を行い。各種スポーツ体験に参加してもらい、スポーツに興味を持ってもらい団員数増を目指す。				
15	夏休み子ども教室の開催 (参加人数)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	-	-	400人	400人	400人	400人	400人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画R3年度末目標数値 (310人)
		実績値	381人	358人	0人	241人					
		達成(評価) (C)	-	-	*	B					
事業内容(D)	◆学校以外での子どもの学習・体験活動の機会の創出・拡充のため各公民館で主に小中学生対象の夏休み教室を開催している。										
	現状と課題(C)	R2は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、開催していなかったが、R3は学年男女に関係なく参加できることを念頭に置きつつ定員を削減して開催(全19教室)した。				今後に向けた 具体的な取組(A)	新型コロナウイルス感染症の懸念が続くことを想定し、少数開催や、オンライン教室の手法などを考案する。				

★目標 子ども・親・家庭に優しい環境づくり

16	児童クラブの利用者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	71.30%	R3	R4	R5	R6	評価(C)	こども課
		目標値(P)	385人	385人	385人	450人	450人	450人	450人	B	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 のR3年度末目標数値は385人であるが、R3から2カ所増えることを見込む。
		実績値	370人	390人	397人	428人					
		達成(評価) (C)	B	A	B	B					
事業内容(D)	◆児童クラブを6小学校12か所で実施し、共働き家庭等の児童(1~6年生)を放課後から18時(一部18時30分)まで預かっている。 ※R3.4.1現在の入会児童は、野市小158人、佐古小99人、野市東小74人、赤岡小13人、香我美小72人、夜須小38人。 (同時点の待機児童は佐古小5人)										
	現状と課題(C)	待機児童の生じていた野市小・香我美小で、R2に放課後児童クラブの新設工事を行ったことで、両小学校においてR3当初入会時は待機児童の解消ができたが、佐古小学校区で待機児童が発生し、今後の受入定員の拡大対応が課題となっている。また、そのためにも、受け皿となる支援員の確保が引き続き最重要課題であり、その要因でもある処遇の改善が急務である。				今後に向けた 具体的な取組(A)	佐古小学校区では宅地開発が進行しており、今後も利用希望者の増加が見込まれるため、R4に増築する。また、支援員確保として、ハローワークや広報誌などの媒体を使った情報発信、現支援員や、児童クラブ利用の保護者への呼びかけ、小中学校の特別支援教育支援員等へのアプローチなど、あらゆる手段を講じて求人の開拓を行っていく。 また、より柔軟な運営を図るため支援員及び保護者会と協議し民営化を進めるとともに、支援員の処遇改善を図っていく。				

★目標 親と子の心と体の健康づくり

17	朝食摂取割合(小学生)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	B	【設定根拠】 食育推進計画(健康対策課)
		実績値	95.0%	94.1%	-	95.9%						
		達成(評価) (C)	B	B	*	B						
事業内容(D)	◆香南市全ての小学5年生を対象にした朝食づくり料理教室を開催し、朝食の効果や大切さなどについて学ぶことにより、朝食摂取や内容の改善に向けて意識の向上を図る。											
	現状と課題(C)	昨年度は、測定指標の調査の実施がなかったが、本年度は95.9%であった。新型コロナウイルスの影響も心配される場所であったが、小学生の摂取は安定していることがわかる。今後も継続的な取組が必要である。				今後に向けた 具体的な取組(A)		香南市食育推進検討委員会で食育だよりを作成し、市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の児童生徒に配布した。今回の食育だよりは「しっかり食べよう朝ごはん」をテーマとし、中学生には部活やダイエット、保育園・幼稚園・小学校には食育キャラクター迷路など関心をもってもらえるように内容を工夫し作成した。来年度以降も食育だよりを発行し、食に関する意識の向上を図る。				

★目標 学校と地域の連携による教育環境づくり

18	将来の夢を持つ児童生徒の割合(小学校)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	87.0%	87.5%	90.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	C	【設定根拠】 全国学力学習状況調査 小学6年生が対象
		実績値	98.4%	88.8%	-	78.3%						
		達成(評価) (C)	A	A	*	C						
事業内容(D)	◆地方自治の仕組みや地域活動の重要性、社会全般での生きる力等の教育の推進を行う。(各校におけるキャリア教育の推進と児童生徒の市民としての社会性を育む教育の推進。) ◆地域学校協働本部事業により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力をを行い、また、土曜授業の開催を活用して学校の教育活動への理解を深め、その協力や参加によって、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを推進する。											
	現状と課題(C)	昨年度は、測定指標の調査の実施がなかったが、本年度は78.3%であった。現在学校は、各教科等において将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をし、社会見学や職業体験を行っており、今後も継続して取り組んでいく必要がある。				今後に向けた 具体的な取組(A)		基本的な生活習慣の確立・学力の向上・社会性の育成など、キャリア教育のねらいに沿った取組を今後も推進する。指導や体験のみにとどまらず、それらを基に振り返りをしたり、人生設計を描いたりするなどの取組を継続的に取り組んでいく。地域学校協働本部事業を活用しながら地域ぐるみ教育を推進する。				

19	将来の夢を持つ児童生徒の割合(中学校)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	75.5%	76.0%	77.0%以上	77.0%以上	77.0%以上	78.0%以上	78.0%以上	78.0%以上	C	【設定根拠】 全国学力学習状況調査 中学3年生が対象
		実績値	74.7%	76.8%	-	67.1%						
		達成(評価) (C)	B	A	*	C						
事業内容(D)	◆地方自治の仕組みや地域活動の重要性、社会全般での生きる力等の教育の推進を行う。(各校におけるキャリア教育の推進と児童生徒の市民としての社会性を育む教育の推進。) ◆地域学校協働本部事業により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力をを行い、また、土曜授業の開催を活用して学校の教育活動への理解を深め、その協力や参加によって、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを推進する。											
	現状と課題(C)	昨年度は、測定指標の調査の実施がなかったが、本年度は67.1%であった。現在学校は、各教科等において将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をし、社会見学や職業体験を行っており、今後も継続して取り組んでいく必要がある。職場体験学習は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施予定。				今後に向けた 具体的な取組(A)		社会科や理科、特別の強化道徳の時間を核とし、社会の一員であることの意識や社会貢献への意識を高める視点を踏まえた学習を展開するとともに、職場体験学習や「総合的な学習の時間」の更なる充実を推進する。地域学校協働本部事業を活用しながら地域ぐるみ教育を推進する。				

20	地域学校協働本部における1校あたり年間活動のべ日数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		目標値(P)	-	-	100日以上	110日以上	120日以上	135日以上	150日以上		A	【設定根拠】 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	-	-	147日	145日						
		達成(評価) (C)	*	*	A	A						
事業内容(D)	◆学校・家庭・地域が連携協力し、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを目指し、授業等における学習補助や教員の業務補助などの教育支援活動を行う。 ◆地域学校協働活動を年間活動累計100日以上を目指し、充実した地域学校協働活動を各学校に定着させる。											
	現状と課題(C)	R2年度同様コロナ禍により、地域の方が学校内へ入って児童生徒と触れ合う活動は難しく少なくなっている。その中でも登下校の見守りやICT機器を利用した読み聞かせなど、各校が工夫しながらできる活動を実施している。行事的なものが減る半面、校外活動の付き添いや水泳の見守り・部活動指導等、教員の働き方改革に資する支援は増えてきている。				今後に向けた 具体的な取組(A)		実施する内容や回数等は各学校で様々だが、人材の確保やボランティアの活用場面など、広がりのある取組を市内で共有していく。厳しい環境にある児童生徒の見守りを民生委員の協力を得ながら継続していく。				

★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり

		年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課	
		21	不登校児童生徒の発生率 (小学校)	目標値(P)	0.8%以下	0.7%以下	0.6%以下	0.5%以下	0.5%以下	0.5%以下	0.5%以下	C
実績値	0.62%			1.16%	1.18%	1.06%						
達成(評価) (C)	*			*	C	C						
事業内容(D)	<p>◆学級担任を中心に子どもをとりまく環境に働きかけ、関係機関と連携し、支援を充実する。 ◆家庭における児童療育の技術に関すること及び児童にかかわる家庭の人間関係に関すること、その他家庭児童の福祉に関することの相談指導を行う。 ⇒(児童生徒は森田村塾で受け入れている)</p>											
	現状と課題(C)	<p>小学校の発生率は1.06%であり、昨年度の同時期と比べて0.12pt減少している。新たな不登校を生まない未然防止の継続的な取組に向け、「魅力ある学校づくり」に向けた取組を実施する。</p>				<p>今後に向けた具体的な取組(A)</p>		<p>不登校や不登校傾向にある子どもへの個別の対応を行いつつも、新たな不登校児童生徒を生みださない取組が必要である。今後も「未然防止」、「初期対応」、「自立支援」を行うなど3つの観点から児童生徒支援を行い、不登校の改善に向けた取組を進め、不登校児童生徒数の減少につなげていく。</p>				
22	不登校児童生徒の発生率 (中学校)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	C	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 【実績値】高知県生徒指導上の諸課題・児童虐待に関する調査(7月)	
		目標値(P)	4.5%以下	4.0%以下	4.0%以下	3.5%以下	3.5%以下	3.5%以下	3.5%以下			
		実績値	5.41%	4.86%	4.73%	5.01%						
		達成(評価) (C)	*	*	B	C						
	事業内容(D)	<p>◆学級担任を中心に子どもをとりまく環境に働きかけ、関係機関と連携し、支援を充実する。 ◆家庭における児童療育の技術に関すること及び児童にかかわる家庭の人間関係に関すること、その他家庭児童の福祉に関することの相談指導を行う。 ⇒(児童生徒は森田村塾で受け入れている)</p>										
	現状と課題(C)	<p>中学校の発生率は5.01%であり、昨年度の同時期と比べて0.28pt増加している。不登校新規生徒数は昨年度を上回り、6名増加している。初期対応や校内支援会の実施率は100%となっているが、目標値の達成には至っていない。引き続き、新たな不登校を生まない未然防止の継続的な取組が必要である。</p>				<p>今後に向けた具体的な取組(A)</p>		<p>不登校や不登校傾向にある子どもへの個別の対応を行いつつも、新たな不登校児童生徒を生みださない取組が必要である。今後も「未然防止」、「初期対応」、「自立支援」を行うなど3つの観点から児童生徒支援を行い、不登校の改善に向けた取組を進め、不登校児童生徒数の減少につなげていく。</p>				
23	スポーツ大会参加者数 (小中高高校生対象)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	C	【設定根拠】 対象大会:サッカー大会(小/中)、野球大会(小・中)、相撲大会(3種類)	
		目標値(P)	-	-	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人			
		実績値	345人	1,024人	604人	210人						
		達成(評価) (C)	-	-	C	C						
	事業内容(D)	<p>体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。 (生涯スポーツのきっかけとなる小中高高校生を対象としたスポーツ大会の開催及び支援) ※野球、サッカー(小中)の3大会参加者数は、R2:中学校相撲22人、サッカー小中570人、高校相撲大会12人。R3:中学野球203人、中学校相撲:中止、サッカー小中:中止、高校相撲大会7人。</p>										
	現状と課題(C)	<p>中学校野球大会を5月に実施。市長杯サッカー大会(小中学生)はコロナの影響で中止。小学生相撲大会中止。中学校・高校相撲大会は11月実施。小学生野球大会は3月に開催予定していたが、コロナの影響で中止となった。</p>				<p>今後に向けた具体的な取組(A)</p>		<p>スポーツ大会を通じてスポーツの楽しみや親しめるように環境の充実を図る。新型コロナウイルスの影響で中止になった大会もあり来年度開催に向けて主催団体等に支援していく。</p>				
24	こどもよさこい参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	*	【設定根拠】 よさこい祭り参加実行委員会 会則	
		目標値(P)	100人	100人	100人	100人	100人	100人	100人			
		実績値	98人	85人	-	-						
		達成(評価) (C)	B	B	*	*						
	事業内容(D)	<p>◆高知県の一大イベントである「よさこい祭り」に参加することで、子どもたちに知識や経験を培う学習機会を持たすことを目的とし、保護者や地域間の繋がりの強化を図ることが目的であり、かつ他の小学校の子どもたちと一緒にチームを作り上げることで日頃感じない感覚や共存・共感の育成を図ることを大きな目標として実施している。</p>										
	現状と課題(C)	<p>R3は高知よさこい祭りやその他のイベント等が中止となっており、こどもよさこいの活動ができない状態であった。近年、参加者が減少しつつあるが、学校やPTAへの呼びかけをより一層行い参加者を増やしていきたい。スタッフについては、近年、市職員から各団体や保護者へ移行している状態である。今後は、役割分担をより明確にし今以上のスタッフを確保したい。</p>				<p>今後に向けた具体的な取組(A)</p>		<p>保護者や地域団体にスタッフとしての協力を呼びかけ、保護者や地域の団体が構成する組織に変更していく。</p>				

25	ひとり親家庭医療費 助成利用者数 【幼年期No.12と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	市民保険課 【設定根拠】	
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-	-	-		*
		実績値	677人	676人	668人	611人						
		達成(評価) (C)	*	*	*	*						
25	事業内容(D)	<p>◆ひとり親家庭医療費助成事業:配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。 (参考) ◆児童扶養手当、母子家庭等自立支援事業(就労に結びつく資格を取得するための受講料や生活費の補助)がある。【全国一律】 ◆母子生活支援施設への入所委託事業がある。【全国一律】 ◆父または母と生活を共にしていない児童を養育している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助ける為の手当支給:DV被害者など児童のいる要保護者の入所支援・自立支援給付 ◆子育て短期ショートステイ:子育てに疲れた時などに子どもを施設で預かり、保護者の精神面のフォローを行う。【全国一律】 ◆①ひとり親家庭医療費助成事業(保)②奨学金貸付(学)③就学援助費支給(学)④特別支援教育修学奨励費(学)等に対し香南市寡婦(夫)控除のみなし適用を実施する。</p>										
		現状と課題(C)	R2.4~児童扶養手当が市民保険課に移管されたことで、申請窓口・問合せ先が統一され、申請者の利便性が向上した。			今後に向けた 具体的な取組(A)		課内での連携強化及び他課との連携を深め、必要な窓口に適切につなげるよう手続きの一覧表の追加・修正を適宜行う。				
26	児童生徒の肥満傾向率(小学5年)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課 【設定根拠】 全国体力運動能力調査の 平均値 香南市教育振興基本計画後 期計画の目標値10.0%以下	
		目標値(P)	11.5%以下	11.1%以下	11%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	C		
		実績値	11.0%	11.55%	-	14.2%						
		達成(評価) (C)	A	B	*	C						
26	事業内容(D)	<p>◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 スポーツ少年団やサークルの活動支援。【生】 基本的な生活習慣の確立を推進する。【学】 体育の授業を改善する。【学】 運動への興味関心を高める活動を推進する。【学】</p>										
		現状と課題(C)	現在学校では、新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら教育活動を行っているが、様々な制限のもとで、運動機会や運動量の減少が背景にあるのではないかと考えられる。朝食摂食率は例年と比べても大きな変化が認められないため、安定した運動機会や運動量の確保が求められる。			今後に向けた 具体的な取組(A)		生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立を目指し、さらに家庭との連携を図る。運動量を確保した体育の授業の実施とともに、保健領域の学習内容も合わせて、指導の充実を図る。コロナ禍でも3密を回避しながらできる運動を日常生活の中に取り入れるという意識を高める言葉がけを行い、積極的に運動に関わる機会を設けるよう働きかけていく。				
27	児童生徒の肥満傾向率(中学2年)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	学校教育課 【設定根拠】 全国体力運動能力調査の 平均値 香南市教育振興基本計画後 期計画の目標値10.0%以下	
		目標値(P)	9.5%以下	9.5%以下	11.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	10.0%以下	A		
		実績値	11.6%	11.05%	-	7.1%						
		達成(評価) (C)	B	B	*	A						
27	事業内容(D)	<p>◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ・スポーツ少年団やサークルの活動支援。【生】 ・基本的な生活習慣の確立を推進する。【学】 ・体育の授業を改善する。【学】 ・運動への興味関心を高める活動を推進する。【学】</p>										
		現状と課題(C)	小学校の状況と異なり、また例年の状況とも異なり、目標値を達成している。男子では、中等度肥満・軽度肥満が全国や県と比べて低く、女子では、高度肥満・中等度肥満・軽度肥満の全てにおいて全国や県と比べて低くなっている。コロナ禍であっても可能な限り運動量を確保したり、コロナ禍だからこそ運動機会を確保するよう取組が行われたことが要因として考えられる。			今後に向けた 具体的な取組(A)		生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立を目指し、さらに家庭との連携を図る。運動量を確保した体育の授業の実施とともに、保健領域の学習内容も合わせて、指導の充実を図る。コロナ禍でも3密を回避しながらできる運動を日常生活の中に取り入れるという意識を高める言葉がけを行い、積極的に運動に関わる機会を設けるよう働きかけていく。				

人生の期別	成年期(就業から子育て期)
基本方針	誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを産み育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進

28	健康診査受診者数 (20~39歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課	
		目標値(P)	110人	110人	115人	115人	115人	115人	115人	B	【設定根拠】 健康増進計画	
		実績値	111人	85人	21人	83人						
		達成(評価) (C)	A	B	C	B						
事業内容(D)		◆健康診査として集団健診で無料で実施中										
現状と課題(C)		過去に受診歴のある者、35~39歳の計365名に受診勧奨実施。受診率については回復傾向にある。					今後に向けた具体的な取組(A)		次年度は30歳も追加し、計500名程度に受診勧奨を行う。			
29	社会参加のための外出 支援サービス利用者数 【熟年期No.54と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	福祉事務所	
		目標値(P)	-	-	23人	23人	23人	23人	23人	C	【設定根拠】 第6期障害福祉計画 ※移動支援事業を含む	
		実績値	6人	6人	1人	3人						
		達成(評価) (C)	*	*	*	C						
事業内容(D)		◆身体障害者を移送用車両で送迎し、社会参加のための外出支援を行う。(肢体不自由の身体障害者手帳1~3級又は療育手帳のA1、A2又は精神保健福祉手帳の1級に該当するもののうち、市民税非課税且つ病院や施設等に入院・入所していないものを対象に移動支援を行う) ◆屋外での移動が困難な障害のある方等に対し、外出時に介助などの支援を行う										
現状と課題(C)		移送車両等の移動支援を必要としている障害者のサービス利用を促進するよう、体制を確保し整える必要がある。R2・R3年度は、コロナ自粛の影響で利用者数が減少。					今後に向けた具体的な取組(A)		令和3年度施行の第6期障害福祉計画に基づき、事業の普及啓発を継続すると共に、社会参加や外出支援の利用目的や方法を検討し、利用者に柔軟な対応ができる事業運営を行っていく。			
30	成人歯科健診受診者数 (30歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課	
		目標値(P)	-	-	25人	25人	25人	25人	25人	A	【設定根拠】 健康増進計画	
		実績値	-	-	23人	36人						
		達成(評価) (C)	-	-	B	A						
事業内容(D)		◆R1年度からの新規事業 ◆年度年齢30歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。										
現状と課題(C)		新型コロナウイルスも落ち着いたことや広報により受診数が増えた。					今後に向けた具体的な取組(A)		ホームページや広報、特定健診など様々な機会を捉えて周知を図る。対象者には個別に受診票を配布済みのため、スムーズな受診に繋がるよう市内の歯科医院に周知する。			

★目標 出会い・新しい家庭づくり支援の推進

31	出会いの場の開催回数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課	
		目標値(P)	3回	3回	3回	3回	4回	4回	4回	B	【設定根拠】 市主催事業+補助制度利用回数	
		実績値	2回	2回	1回	2回						
		達成(評価) (C)	B	B	C	B						
事業内容(D)		◆市主催事業として、結婚を希望する人が、お付き合いのマナーなどを学ぶライフプランセミナー(婚活イベント)を実施する。 ◆香南市恋いめぐりあい応援事業として、①出会いにつながるイベントや交際力の向上等を目的としたセミナーを開催する「イベント型事業」、②結婚に関する相談に対応する「相談窓口型事業」に対し、個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援する。②についてはH29年度より「よりあいにこ家」が継続して活動中。										
現状と課題(C)		「よりあいにこ家」による結婚相談窓口での補助制度1回が継続実施中。成婚者もあり、少しずつ成果が出ている。また補助金要綱を補助団体が活動しやすいよう改正を行った。しかし、H29以降は補助制度のうちイベント型事業での活用が無く、過去に利用実績のある団体への聞き取りでは、イベント開催について、募集～運営面で特に負担に感じる部分があるとのこと。イベントノウハウの共有をはじめサポート体制を整え、補助金の周知や活用に向け市内団体と連携を図っていく必要がある。また、市主催の婚活セミナーについては10月に実施し、13名の参加者(男5、女8)があった。					今後に向けた具体的な取組(A)		広報等による周知の強化や、市内の各団体に対し「高知で恋しよ!!応援サイト」の応援団への登録を推進するとともに、応援団登録団体へイベント開催への働きかけを行う。その中では、イベント開催について様々な面でサポートを行うことも説明していき、行政と各団体をはじめ地域全体で出会いの場の提供に対する理解を深め、少子化対策への機運を高める。			

32	出会う場の参加人数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	60人	200人	100人	100人	120人	120人	120人	B	【設定根拠】 イベント型事業定員数及び 相談窓口型事業前年度実績
		実績値	141人	77人	95人	86人					
		達成(評価) (C)	A	C	B	B					
事業内容(D)		<p>◆市主催事業として、結婚を希望する人が、お付き合いのマナーなどを学ぶライフプランセミナー(婚活イベント)を実施する。 ◆香南市恋いめぐりあい応援事業として、①出会いにつながるイベントや交際力の向上等を目的としたセミナーを開催する「イベント型事業」、②結婚に関する相談に対応する「相談窓口型事業」に対し、個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援する。②についてはH29年度より「よりあい」に「こ家」が継続して活動中。 目標内訳: 市主催事業20名、相談窓口型事業60名、イベント型事業1回20名</p>									
現状と課題(C)		<p>セミナー、相談窓口と事業が実施されているが、今後はイベント型事業での参加者を増やすことで様々な未婚男女のニーズに応えられるようにすることが課題。また、「よりあいにこ家」については今年度から窓口開設日が増えたことやポスター・チラシを用いた広報活動が功を奏し、相談件数が増加した。今後も継続して活動を行ってもらえるようにサポートを続けていく。</p>				<p>今後に向けた 具体的な取組(A)</p>		<p>市主催事業としては結婚を望む独身男女やその家族を対象に、婚活のためのスキルアップセミナーを実施予定。(内容は年度毎に検討。)今年度からはセミナー参加申し込みを高知県が運営する「高知で恋しよ!!応援サイト」での受付に変更しており、婚活に対して積極的に取り組んでいる方により効果的に広報できるようにSNSを活用していく。また、「よりあいにこ家」による相談窓口型事業についても継続して行う。補助金の周知及び活用の促進を行い、申請団体には計画段階からサポートをしていくことで、市内団体との連携を図り、イベント数の増加やそれに伴う参加者数の増加に繋げていく。</p>			

33	結婚新生活支援事業 補助金活用件数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	10件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	A	【設定根拠】 補助金上限件数
		実績値	11件	3件	4件	13件					
		達成(評価) (C)	A	C	C	A					
事業内容(D)		<p>◆下記条件全てに該当する新婚世帯を対象に、新生活に要した経費(住宅の購入経費、賃貸アパート契約時の諸経費、引っ越し経費等)に対して上限30万円を経済的に補助する。ただし、住居が夫婦のいずれかの実家からおおむね5km以内又は同一小学校区にある場合は最大15万円加算 新婚世帯条件 ①婚姻日における夫婦2人の年齢が39歳以下 ②直近の世帯所得合計金額が400万円未満 ③その他条件あり</p>									
現状と課題(C)		<p>広報への掲載や、市民保険課窓口でチラシを配布している。また転入者へのアンケートで転入理由が「結婚」と記載されている方に個別で案内を送付しており、相談件数も伸びている。しかし申請者を対象にしたアンケートでは結婚までに本事業を知っている割合が12.5%と周知不足であることが伺える。また、補助金の交付のみとなり、妊娠・子育てに向けた取組につながっていない現状がある。</p>				<p>今後に向けた 具体的な取組(A)</p>		<p>引き続き 婚姻届を受理する市民保険課と連携し周知を図るとともに、転入者に対して実施中のアンケート回答者のうち同意が得られた方に個別案内を行っていく。また妊娠・子育ての機運の醸成に向けた取組として、補助金の交付要件に妊娠・子育て等のセミナーへの参加を明記することで参加者の増加につなげる。</p>			

★目標 親と子ども・働く環境との両立支援の推進(妊産婦の安全で安心な環境づくりの推進)

34	パパママ教室参加率 【幼年期No.1と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	13.2%	13.4%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%	21.0%	B	【設定根拠】 子ども・子育て支援計画
		実績値	20.8%	17.4%	19.0%	15.9%					
		達成(評価) (C)	A	A	B	B					
事業内容(D)		<p>◆妊娠期と授乳期の栄養、出産準備、産後の生活、出産前後の身体の変化、母乳栄養、沐浴体験などを教室で実施。安心して妊娠・出産・育児ができるように支援。また、妊婦同士の交流や、父親の役割を考える機会ともなり父親の育児参加の支援の場にもなっている。</p>									
現状と課題(C)		<p>母子健康手帳交付時や妊娠中期の個別通知にて開催案内をした。コロナウイルス対策として定員8組で実施。申し込み多数により教室開催数を2回分増加し、教室を8回(7・11月分は2回)、個別対応を4回実施した。年度当初・年度末は参加者数少なく、コロナウイルスの感染拡大の影響が考えられる。</p>				<p>今後に向けた 具体的な取組(A)</p>		<p>働く妊婦や夫等多くの方に参加してもらえるように、平日午後・休日開催を継続し、休日開催数を増やす。教室の実施評価・参加者への事後フォローに活用するために新たにアンケートを作成する。</p>			

★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援

35	生涯スポーツ教室の 参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	-	-	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人	A	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	3,818人	1,678人	3,682人	4,220人					
		達成(評価) (C)	-	-	B	A					
事業内容(D)		<p>体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。 (生涯スポーツの推進のため、こうなんスポーツクラブへの支援を行い、各種教室を開催。)</p>									
現状と課題(C)		<p>コロナの関係により、8月21日～9月12日まで施設の休館に伴い教室も一時中止。 人と人を開けることなど昨年と同様にコロナ対策を徹底して教室を進めていく必要がある。</p>				<p>今後に向けた 具体的な取組(A)</p>		<p>引き続き感染予防対策を行いつつ、こうなんスポーツクラブと連携しながら教室(スポーツ)を開催していく。</p>			

36	市長杯・教育長杯の参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	-	-	800人	800人	800人	800人	800人	C	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画R4年度末目標 数値(590人)
		実績値	769人	873人	159人	372人					
		達成(評価) (C)	-	-	C	C					
事業内容(D)	◆参加者が競い合うことにより技能の一層の向上が期待できると認められる各種スポーツにおいて、参加者数など一定の大会規模を満たす大会に市長杯を付与することで、スポーツへの関心、参加者の増加、技能の向上などを図っている。										
現状と課題(C)	教育長杯ソフトバレーボール大会・卓球が中止。市長杯ベタンク・バドミントン大会が中止。パークゴルフ大会10月開催・龍馬カップ11月に開催ゴルフ大会2月開催・テニス3月開催することができた。				今後に向けた具体的な取組(A)			新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、前年度よりも大会を開催することができた、今後も社会情勢を気にしつつも、対策をしていき、継続して開催できるよう努める。			
37	スポーツ少年団認定員資格の取得者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	66人	68人	75人	78人	80人	85人	85人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画R4年度末目標 数値(75人)
		実績値	79人	81人	84人	72人					
		達成(評価) (C)	A	A	A	B					
事業内容(D)	◆スポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」を増やしていくことで、技能の向上を図っていく。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。										
現状と課題(C)	R2年度から比較すると資格取得者数が減少しているが、R3年度実際の有資格者は実績値よりも多いと考えている。課題については、認定員増加よりも指導者の後継が求められる。				今後に向けた具体的な取組(A)			令和5年度には、認定員制度が廃止になり新たな資格になるため、資格移行手続きの周知を行っていく。			
38	市美術展への出品者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	230人	230人	230人	230人	230人	230人	230人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	210人	177人	208人	204人					
		達成(評価) (C)	B	B	B	B					
事業内容(D)	◆文化協会、各種サークルの活動支援										
現状と課題(C)	R3年度は前年と同様、コロナ感染予防対策を実施しながら開催した。出品者が高齢になってきている現状はそのままであるが、部門によっては、新規の方や高校生などの出品もあった。昨年度に引き続き今年度も継続して、県内の高校・大学・専門学校等に出品の依頼を行い、出品者の若返りを図りたいと考える。				今後に向けた具体的な取組(A)			目標は、現状維持の230人を目標とする。R3年度から工芸部門に新しく手芸品が出品された。幅広い分野の作品を受け入れることで、出品者の拡大や美術展の発展につなげていく。 また、香南市近隣の高校等に出向き、高校生の参加依頼を促し出展依頼を行い、より近い地元の展示会にしていく。			

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

39	DV相談窓口数 【熟年期No53と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	人権課
		目標値(P)	-	-	-	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所	B	【設定根拠】
		実績値	5	5	5	5					
		達成(評価) (C)	*	*	*	B					
事業内容(D)	◆生活全般に関わる相談業務を人権課及び赤岡・吉川両市民館において、日々行っており、家庭内暴力・DV相談を含めた相談等があれば関係機関(市・福祉事務所、教育委員会、住宅管財課、その他:警察、女性センター等)と連携し対応している。 現在の相談窓口:人権課、高齢者介護課、福祉事務所、赤岡市民館、吉川市民館										
現状と課題(C)	赤岡・吉川市民館には支所があり、オープンにしたい相談者が来づらい場合や、相談者が知っている人だと相談しにくい面もあると考えられる。相談しやすい窓口・相談体制にしていく必要がある。				今後に向けた具体的な取組(A)			相談者は、玄関を使わず別の入り口を使うなど配慮をする必要がある。相談者がより相談しやすくなるため相談窓口体制を香我美支所や夜須支所などに拡大していくことを関係各課と協議し検討していく。			
40	障害者虐待相談 対応・支援	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	福祉事務所
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-	-	*	【設定根拠】
		実績値	1人	1人	0人	1人					
		達成(評価) (C)	*	*	*	*					
事業内容(D)	◆障害者虐待の相談や通報などの受付、虐待の早期発見への取り組みとして、障害者虐待に関する窓口「香南市障害者虐待防止センター」を設け(福祉事務所内) 障害者虐待を受けた方への迅速かつ適切な保護、そして障害者の養護者に対する支援を行い、障害者の権利侵害の防止に努める。										
現状と課題(C)	香南市障害者虐待防止センターの周知と障害者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する広報・啓発の充実を図る。				今後に向けた具体的な取組(A)			障害者や障害児の虐待防止及びその早期発見・対応のため、虐待防止ネットワーク委員会等で関係機関との連絡調整を行い、支援体制を強化する。			

★目標 移住者ウェルカム支援の推進											
41	移住促進ホームページのアクセス回数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	5,000回	65,000回	68,000回	70,000回	72,000回	74,000回	75,000回	A	【設定根拠】 移住促進ホームページのアクセス回数
		実績値	67,226回	55,407回	82,096回	91,303回					
		達成(評価)(C)	A	B	A	A					
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 市の情報発信及び各課と連携した移住関連情報提供の強化を図る。										
現状と課題(C)	移住専門HP「香南住む〜ず」の掲載情報のこまめな更新や他課と連携した情報発信の他、県移住サイトとのリンクや市公式ラインアカウントの開設を行ったことにより、アクセス数が前年度に比べて増加した。今後は、リニューアルしたHPの内容をさらに充実させ、魅力ある情報発信を行っていく必要がある。				今後に向けた具体的な取組(A)			今後も掲載内容・方法の工夫や、他課や県と連携した幅広い情報発信をこまめに行うとともにSNS(Instagram、Facebook、Line)も積極的に活用していく。また、市HPに合わせてリニューアルしたHPをさらに見やすく充実した内容になるよう取り組んでいく。			
42	県外からの移住者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	10組	20組	32組	34組	36組	38組	40組	B	【設定根拠】 人口ビジョン
		実績値	29組	29組	31組	28組					
		達成(評価)(C)	A	A	B	B					
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住から定住、そして地域の活性化につなげるため、移住相談窓口での相談業務のほか、高知県等が主催する県外移住相談会への参加、近隣市町村(高知市・香美市・南国市)との広域連携による県外相談会、移住ツアーを実施する。										
現状と課題(C)	コロナウイルス感染拡大の影響により、県主催の県外相談会や広域連携事業については、主にオンラインにより実施した。また、関係人口や交流人口の拡大を図るためワーキングホリデー事業や、課題となっていた移住後の定住につなげるためのアフターフォローとして、移住者交流会を実施した。コロナウイルスの影響からか、県外からの移住組数は昨年度実績を下回ったが、県内の他市町村からの移住組数は昨年度を上回った(R2:10組、R3:16組)。移住・定住施策の効果的なPR、本気度の高い移住検討者の把握やアプローチ方法の検討が課題である。				今後に向けた具体的な取組(A)			引き続き、高知県等が主催する県外移住相談会への参加、高知・南国・香美・香南での広域連携事業のほか、関係人口や交流人口の拡大を図る事業展開を行うことにより将来的な移住の掘り起こしに取り組む。また、移住者交流会を定期的に開催し、移住から定住につなげて、地域活性化を図っていく。			
43	空き家バンク新規登録数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	-	-	12件	12件	12件	12件	12件	B	【設定根拠】 実績ベース+登録物件数推移
		実績値	14件	8件	12件	11件					
		達成(評価)(C)	-	-	A	B					
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住者を受け入れるための市内空き家の活用を促進し、移住から定住、そして地域の活性化につなげる。										
現状と課題(C)	活用可能な空き家の掘り起こしをいかに効率的に行うかが課題となっており、R2より移住専門相談員による空き家調査のほか、まちづくり協議会の協力を得て空き家情報の収集を行っているが、所有者の都合等により登録件数の増加に繋がっていない状況である。また、登録物件については、改修が必要なものが多く、移住希望者とのスムーズなマッチングにつなげにくいことから、従来と違う視点で空き家の掘り起こし方法を検討することが課題である。				今後に向けた具体的な取組(A)			空き家の掘り起こしについて、空き家になって長期間が経過した改修が必要なもののほか、修繕の程度が少ないと思われる築年数の浅い空き家や、空き家になる予定の住宅について、内容・方法を工夫した制度の周知により登録につながって、移住希望者とのスムーズなマッチングを図る。また、地域と連携した空き家の掘り起こしの強化や補助金制度の周知に継続して取り組んでいく。			
44	移住希望者向けお試し滞在住宅の稼働率(市管理)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	-	50.0%	78.0%	80.0%	82.0%	84.0%	86.0%	B	【設定根拠】市の実績ベース(参考)県内各市町村(25市町村)が設置したお試し滞在住宅のH30平均稼働率:約38.0%
		実績値	78.6%	71.8%	74.8%	70.1%					
		達成(評価)(C)	-	A	B	B					
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 平成29年12月より香我美町西川地区に移住希望者向けのお試し滞在住宅を設置し、香南市の風土や気候・暮らしを体験してもらうことで、移住への不安を解消する短期滞在施設としての利用促進に取り組む。										
現状と課題(C)	移住希望者に利用(最長90日)してもらうことで、本市への移住体験施設としての役割を果たしている。R3は、5組の利用があった。低料金の宿泊施設として利用を希望する相談者もいるため、事前相談等での見極めが課題である。また、車を持っていない移住希望者が体験できる施設として、市街地にもお試し滞在住宅を整備することが検討課題である。				今後に向けた具体的な取組(A)			本気度の高い移住検討者に利用してもらうために、県外移住相談会等ですっかりと移住相談を受けたうえで、香南暮らしの体験施設をPRL利用促進を図る。また、本市の利便性を体験できる市街地における新たな施設の整備を検討していく。			
45	地域おこし協力隊任期満了後の定住者数(累計)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	-	-	2人	7人	11人	12人	14人	B	【設定根拠】 任期満了予定の隊員数100%
		実績値	-	-	0人	5人					
		達成(評価)(C)	-	-	C	B					
事業内容(D)	◆農業担い手候補生や移住相談員、集落支援センターの支援等で活動できる人材を積極的に導入し、地域の住民や行政とともに集落の維持や地域の活性化に係る活動を推進し、課題の解決及び事業化に向けた取組を進める。										
現状と課題(C)	R4.3月末現在、地域おこし協力隊7名が活動中。地域との交流を深め多方面で活躍しており、地域の活性化につながっている。R3年度末までに新たに任期満了を迎えた隊員は5名で、全員市内に定住している。課題:任期終了後、定着・定住のためには各隊員が就業先を確保することが必要。				今後に向けた具体的な取組(A)			任期満了後も地域で活躍し、定着・定住してもらうための支援を行う。 ・国、県、市が連携した起業・就業支援 ・空き家等市内の不動産物件の情報提供 ・任期満了後の定住及び市の活性化を図るため、隊員の起業等を支援する補助金を交付			

人生の期別	熟年期(人生が充実する時)
基本方針	にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。

★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進											
46	特定健診受診率 (40~64歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	30.0%	42.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	B	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	23.6%	29.1%	18.8%	20.9%					
	達成(評価) (C)	B	B	B	B						
	事業内容(D)	◆特定健診:集団健診と医療機関での個別健診を実施。 ・国保被保険者の40歳から74歳を対象に無料で実施。 ・人間ドック費用の助成有。 ・がん検診とのセット健診、休日健診も実施。 ・肝炎検査も同時実施(集団検診で検査未実施者に対して無料で実施)									
	現状と課題(C)	集団検診については昨年に引き続き感染対策を講じて予約制にて実施した。年間の検診スケジュールも戸別配布し周知を行った。受診率は回復傾向にある。				今後に向けた 具体的な取組(A)		コロナ前の受診動向に戻していく(健康推進員など)。また、個別動向についてはR3年度に引き続き外部委託も継続。			
47	メタボリックシンドローム 該当者割合 (男性) 40~74歳	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	30.0%以下	30%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	30.0%以下	B	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	31.4%	32.3%	30.2%	30.5%					
	達成(評価) (C)	B	B	B	B						
	事業内容(D)	特定健診結果から把握している。 ◆健診受診に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施									
	現状と課題(C)	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者割合は、男女ともに県や全国と比較すると高い。				今後に向けた 具体的な取組(A)		特定保健指導該当者には個別に面談や教室への誘い込みを行い生活習慣改善に向けた保健指導の実施。			
48	メタボリックシンドローム 該当者割合 (女性) 40~74歳	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	13.0%以下	B	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	15.5%	15.2%	16.9%	14.3%					
	達成(評価) (C)	B	B	B	B						
	事業内容(D)	特定健診結果から把握している。 ◆健診受診に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施									
	現状と課題(C)	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者割合は、男女ともに県や全国と比較すると高い。				今後に向けた 具体的な取組(A)		特定保健指導該当者には個別に面談や教室への誘い込みを行い生活習慣改善に向けた保健指導の実施。			
49	睡眠で休養がとれている割合 40~74歳	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	B	【設定根拠】 自殺対策計画
		実績値	71.0%	71.7%	72.2%	71.3%					
	達成(評価) (C)	B	B	B	B						
	事業内容(D)	◆特定健診の問診結果から把握 ◆住民一人ひとりが自殺の要因となることと体の健康や自殺に対する正しい知識を持ち、自殺予防のための大切な行動、「気づき」「つなぎ」「見守り」ができるように、民生委員定例会で情報交換等を実施するとともに、健診会場やイベントでの広報等普及啓発を図る。									
	現状と課題(C)	コロナの影響等も特定検診などを通して把握していく。				今後に向けた 具体的な取組(A)		今年度も健診会場での現状把握と、各機会を捉えて啓発に努める。 職員向けの研修継続。			
50	成人歯科健診受診者数 (40・50・60歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	-	-	95人	95人	95人	95人	95人	A	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	-	-	107人	110人					
	達成(評価) (C)	-	-	A	A						
	事業内容(D)	◆R1年度からの新規事業 ◆年度年齢40・50・60歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。									
	現状と課題(C)	新型コロナウイルスも落ち着いたことや広報により受診数のがのびた。				今後に向けた 具体的な取組(A)		ホームページや広報、特定健診など様々な機会を捉えて周知を図る。 対象者には個別に受診票を配布済みのため、スムーズな受診に繋がるよう市内の歯科医院に周知する。			

★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援											
51	ボランティア登録者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	100人	100人	125人	125人	130人	130人	135人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	115人	121人	95人	89人					
		達成(評価) (C)	A	A	B	B					
事業内容(D)	◆本の読み聞かせグループの活動支援をしている。 ◆ボランティア(図書館クラブ)の保育所・幼稚園への読み聞かせ活動を支援している。 ◆活動補助及び読書ボランティア講座を開催し後継者の育成を図る。【市単独】 ◆生涯学習人材バンク登録 様々な分野において豊富な経験や資格を持っている市民や団体の情報を「人材バンク」に登録し、市民の生涯学習活動や学校活動における教育活動等を支援するために、指導者やボランティアとして紹介する制度。										
現状と課題(C)	R4年3月末現在 人材バンク 29人 読書ボランティア 60人 【人材バンク】新規の登録者ができていない状態である。文化協会、スポーツ団体や文化財ボランティアの方々に再度、趣旨説明とこの制度の意義について説明し、登録者の増員を図っていく。				今後に向けた 具体的な取組(A)			依頼内容等の住民向けの広報活動(ボランティアの内容などを含め広報やHPでの周知)をはじめ、この制度や活動内容の周知を継続して実施していく。 ・文化・スポーツ団体ごとに個別に説明をする場を設け実施していく。 ・読書ボランティア養成講座を1月・2月に開催			
52	地域活性化総合補助金 活用自治会数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	地域支援課
		目標値(P)	-	-	90自治会	93自治会	95自治会	95自治会	95自治会	B	【設定根拠】 95自治会で100%結成
		実績値	85自治会	84自治会	84自治会	84自治会					
		達成(評価) (C)	-	-	B	B					
事業内容(D)	◆地域活性化総合補助金 住民が将来にわたり安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、住民自らが企画し、自主的に取り組むまちづくり活動及び市民と行政が協働で地域の課題解決や個性豊かで活力のあるまちづくりを推進するため交付する。 対象:まちづくり自治会、協議会、(自主防災会、健康を守る会) 補助限度額:町内会加入世帯数×2,000円(自治会)、×4,000円(協議会)										
現状と課題(C)	地域の活動を支援する補助金として自治会、協議会活動をはじめ、防災活動への活用も図られている。しかし、自治会未設立の地域のほか、「設立済みだが補助金は未申請」が2自治会あり、活動する会員の減少や高齢化が課題。また、コロナ禍において一部の活動を再開している地域があるが、リスクが先に立ち活動が停滞する地区もあるのが現状。				今後に向けた 具体的な取組(A)			自治会未設立地域の早期解消を図るため、地区担当職員と共に住民説明会等を継続して行う。補助金未申請の団体については活用を案内する。コロナ対策を行いつつ新しい形での事業を計画・実施する自治会もあるため、そういった事例については情報提供をし、地域の課題解決に向けた活動を支援していく。			

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

53	DV相談窓口数 【成年期No.39と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	人権課
		目標値(P)	-	-	-	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所	B	【設定根拠】
		実績値	5	5	5	5					
		達成(評価) (C)	*	*	*	B					
事業内容(D)	◆生活全般に関わる相談業務を人権課及び赤岡・吉川両市民館において、日々行っており、家庭内暴力・DV相談を含めた相談等があれば関係機関(市:福祉事務所、教育委員会、住宅管財課、その他:警察、女性センター等)と連携し対応している。 現在の相談窓口:人権課、高齢者介護課、福祉事務所、赤岡市民館、吉川市民館										
現状と課題(C)	赤岡・吉川市民館には支所があり、オープンにしたくない相談者が来づらい場合や、相談者が知っている人だと相談しにくい面もあると考えられる。相談しやすい窓口・相談体制にしていける必要がある。				今後に向けた 具体的な取組(A)			相談者は、玄関を使わず別の入り口を使うなど配慮をする必要がある。相談者がより相談しやすくなるため相談窓口体制を香我美支所や夜須支所などに拡大していくことを関係各課と協議し検討していく。			
54	社会参加のための外出 支援サービス利用者数 【成年期No.29と同指標】	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	福祉事務所
		目標値(P)	-	-	23人	23人	23人	23人	23人	C	【設定根拠】 第6期障害福祉計画 ※移動支援事業を含む
		実績値	6人	6人	1人	3人					
		達成(評価) (C)	*	*	*	C					
事業内容(D)	◆身体障害者を移送用車両で送迎し、社会参加のための外出支援を行う。(肢体不自由の身体障害者手帳1〜3級又は療育手帳のA1、A2又は精神保健福祉手帳の1級に該当するものうち、市民税非課税且つ病院や施設等に入院・入所していないものを対象に移動支援を行う) ◆屋外での移動が困難な障害のある方等に対し、外出時に介助などの支援を行う										
現状と課題(C)	移送車両等の移動支援を必要としている障害者のサービス利用を促進するよう、体制を確保し整える必要がある。R2・R3年度は、コロナ自粛の影響で利用者数が減少。				今後に向けた 具体的な取組(A)			令和3年度施行の第6期障害福祉計画に基づき、事業の普及啓発を継続すると共に、社会参加や外出支援の利用目的や方法を検討し、利用者にも柔軟な対応ができる事業運営を行っていく。			
55	福祉医療費助成事業 利用者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	福祉事務所
		目標値(P)	-	-	-	-	-	-	-	*	【設定根拠】 障害福祉計画見込み量 参考
		実績値	750人	756人	766人	730人					
		達成(評価) (C)	*	*	*	*					
事業内容(D)	◆保険給付対象医療費の自己負担額の全額助成。(身体障害者手帳1〜3級又は療育手帳を取得した人の健康保険適用分の自己負担金を助成)										
現状と課題(C)	福祉医療費助成の対象者は手帳取得や所得要件が関係するため、対象者の把握は一律には難しいが、医療機関や窓口にて制度の紹介や利用支援を行い、必要な医療を受けられる体制を継続し整える必要がある。				今後に向けた 具体的な取組(A)			中度の心身障害者の保健の向上と福祉の増進を図る中で事業の普及啓発を継続して取り組む。			

人生の期別	高齢期(第二の人生のスタート)
基本方針	健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

★目標 健康で長生きできる環境づくりの推進

56	特定健診受診率 (65歳～74歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	50.0%	42.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	B	【設定根拠】 特定健康診査実施計画
		実績値	35.4%	43.3%	30.8%	32.4%					
		達成(評価) (C)	B	A	B	B					
事業内容(D)		◆健診: 集団健診と医療機関での個別健診(75歳以上は健康診査として実施/無料、人間ドック費用の助成)									
現状と課題(C)		集団検診については昨年に引き続き感染対策を講じて予約制にて実施した。年間の検診スケジュールも戸別配布し周知を行った。受診率は回復傾向にある。					今後に向けた 具体的な取組(A)		コロナ前の受診動向に戻していく(健康推進員など)。また、個別勧奨についてはR3年度に引き続き外部委託も継続。		
57	口腔機能向上教室および高齢者食生活改善栄養教室参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	250人	90人	150人	160人	170人	170人	170人	C	【設定根拠】 高齢者福祉計画
		実績値	86人	111人	32人	11人					
		達成(評価) (C)	C	A	C	C					
事業内容(D)		◆①お達者教室: 介護予防メニュー(運動・栄養・口腔・認知症予防・閉じこもり予防等)を組み合わせた複合的プログラムを市内4会場で高齢者に提供する。歯科衛生士による口腔についての指導を年に1回、食生活改善推進員による指導を各会場各曜日1回実施する。 ②いきいきクラブ: 食生活改善推進員による口腔機能向上教室を開催する。(年間3～6地区) 平成26年度(夜須2地区・吉川2地区)、平成27年度(香我美3地区・脳健康教室)、平成28年度(香我美5地区)、平成29年度(野市3地区)、平成30年度(野市6地区)、平成31年度(野市3地区) R2年度(野市3地区) R3年度(野市2地区) ③自主運動グループ大会で介護予防メニューを提供し、口腔機能の向上について参加者が学ぶ。(令和2年～)									
現状と課題(C)		口腔機能向上教室は食生活改善推進員による市内全域での実施を目標にH23年度より旧町ごとに順次開催、R3年度は2地区で実施予定。新型コロナウイルスの影響によりお達者教室や自主運動グループ大会での教室開催は中止。実績値は例年よりも減少。					今後に向けた 具体的な取組(A)		R4年度も新型コロナウイルスの感染状況に応じて、継続実施。		
58	軽スポーツの参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課
		目標値(P)	-	-	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	B	【設定根拠】 生涯学習推進計画 教育振興基本計画 後期計画
		実績値	-	-	802人	758人					
		達成(評価) (C)	-	-	B	B					
事業内容(D)		◆激しい運動ができない世代に健康増進や交流を目的とする軽スポーツを推進する。 ◆子どもから高齢者まで誰でも参加できる教室を香南スポーツクラブへ委託して開催し、市民に対し軽スポーツを推進する。(ボッチャ・屋内ストレッチ・スポーツ吹き矢等)									
現状と課題(C)		コロナの関係により、8月21日～9月12日まで施設の休館に伴い教室も一時中止。人と人の間を開けることなど昨年と同様にコロナ対策を徹底して教室を進めていく必要がある。					今後に向けた 具体的な取組(A)		引き続き感染予防対策を行いつつ、こうなんスポーツクラブやレクリエーション協会等と連携しながら教室(スポーツ)を開催していく。		
59	成人歯科健診受診者数 (70歳)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	健康対策課
		目標値(P)	-	-	60人	60人	60人	60人	60人	B	【設定根拠】 健康増進計画
		実績値	-	-	60人	40人					
		達成(評価) (C)	-	-	A	B					
事業内容(D)		◆R1年度からの新規事業 ◆年度年齢70歳に対して、実施期間内に委託歯科医療機関にて1回無料で口腔内診査(歯周病やむし歯の健診)を実施。									
現状と課題(C)		新型コロナウイルスの流行もあり受診控えの影響がみられた。高齢期における歯科受診の必要性を周知していく。					今後に向けた 具体的な取組(A)		ホームページや広報、特定健診など様々な機会を捉えて周知を図る。対象者には個別に受診票を配布済みのため、スムーズな受診に繋がるよう市内の歯科医院に周知する。		

★目標 世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる地域社会づくりの推進

60	風揚げ・交流事業参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	1,200人	1,200人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	C	【設定根拠】 生涯学習推進計画
		実績値	1,300人	1,300人	44人	328人						
		達成(評価) (C)	A	A	C	C						
事業内容(D)	<p>◆青少年育成事業として三世交代の風揚げ大会と独自事業を年2回開催している。令和3年度は11月13日に親子パークゴルフ大会、令和4年1月9日に風揚げ大会を実施した。いずれも、コロナ対策(検温、消毒、マスク着用等)を施した上で行き、世代間交流の促進に寄与した。</p> <p>◆子どもたちに向けた土佐風つくりの講習会を例年1回のところ3回行い、土佐風文化の伝承に努めた。</p> <p>◆地域密着型の三世交代により、地域活性化を推進する。</p>											
現状と課題(C)	R3年度：風揚げ大会実施 300人 交流事業(親子パークゴルフ大会)28人 就学前児童から小学生まで多くの子供と保護者の参加があった。屋外の交流の場として、今後も継続して行いたい。					今後に向けた 具体的な取組(A)			同じ内容で行っているため飽きられる恐れがある。しかしながら風揚げという伝統の遊びを 変えることは出来ないため、サイドメニューの 企画を講じたい。また、駐車場の確保が急務。 4年度もコロナの影響で参加者が減少すると思 われるが、屋外行事を行うことで少しでも多 くの参加者を迎えられるよう改善する。			
61	町民運動会参加団体数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	生涯学習課	
		目標値(P)	42団体	43団体	42団体	42団体	42団体	42団体	42団体	42団体	*	【設定根拠】 体育協会の事業計画
		実績値	38団体	36団体	-	-						
		達成(評価) (C)	B	B	*	*						
事業内容(D)	<p>◆各町において自治会等への参加を促し、町民運動会を開催している。</p> <p>◆地域密着型の三世交代により、地域活性化を推進する。</p> <p>参考：連合参加の団体や野市地区では自主グループでの参加もあるが、自治会ベースに想定すると45団体程度が参加上限。</p>											
現状と課題(C)	10月開催の予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の為、競技者の間隔、応援者の間隔の密を避けることが難しく、また参加者全員を把握することが困難な為、中止とした。2年連続開催が途絶えたため再開にむけての支援が必要となる。					今後に向けた 具体的な取組(A)			新型コロナウイルス感染症の懸念が続くことを想定し、少数開催や接触がない競技を考案する。			

★目標 親・子・孫で支える地域社会づくりの推進

62	軽度生活援助事業 1月あたりの利用者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課	
		目標値(P)	22人	-	30人	30人	30人	30人	30人	30人	B	【設定根拠】 高齢者福祉計画
		実績値	22人	26人	24人	22人						
		達成(評価) (C)	B	-	B	B						
事業内容(D)	<p>◆軽度生活援助事業 65歳以上の一人暮らし高齢者で介護保険サービスを受けていない方を対象に、掃除や買い物等の家事援助サービスを行うことで、要介護状態への進行防止、本人及び家族の身体的、精神的負担の軽減に取り組む。</p>											
現状と課題(C)	勤務時間が短く安定した収入に繋がりにくいため、新規の援助員の担い手がおらず、慢性的に人手不足となっており、そのため日程調整に時間を要することがあった。					今後に向けた 具体的な取組(A)			令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため研修会が開催出来なかった。新規援助員の獲得に向け、令和4年度についても研修会を開催する予定である。			
63	ボランティア参加者数(延)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課	
		目標値(P)	760人	760人	700人	700人	700人	700人	700人	700人	B	【設定根拠】 高齢者福祉計画
		実績値	710人	588人	520人	537人						
		達成(評価) (C)	B	B	B	B						
事業内容(D)	<p>◆高齢者の生きがいづくりや地域での支え合い・助け合いを目的に、65歳以上の方が、市の指定を受けた介護施設や介護予防事業等でボランティアを行った場合にポイントを付与し、そのポイントに応じて香南市ギフトカタログの商品と交換できる事業。</p>											
現状と課題(C)	新型コロナウイルスの関係で施設への出入りが制限され、定期で行っていたボランティア活動などほとんど行っていない中、今年度は少額のギフトカタログを作成した。少ないポイントでも商品交換できる様になった為、ボランティア活動の意欲向上に繋がった。課題として、高齢化等でボランティア活動者が少なくなり、施設ニーズに対応できない状況がある。					今後に向けた 具体的な取組(A)			新たなボランティアの発掘に向けて、引き続き65歳到達者へ制度の案内を行う。制度の運用については、社協ボランティアセンターとの連携が不可欠な為、定期的に協議を重ねていく。			

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援											
64	認知症サポーター養成講座受講者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	450人	270人	270人	270人	270人	270人	270人	C	【設定根拠】 高齢者福祉計画
		実績値	268人	261人	207人	100人					
		達成(評価) (C)	B	B	B	C					
64	事業内容(D)	◆地域で認知症の方や家族を支援する見守り・支え合いの体制づくりを推進することを目的とした地域包括支援センターでの相談対応、認知症サポーター養成講座の開催、認知症高齢者を考える会への協力や認知症の講演会等の開催。									
	現状と課題(C)	まちづくりの研修に組み込まれたり、認知症高齢者の増加により、地域住民の関心は高くなっているが、新型コロナウイルスの影響で研修会が自粛されている。また、受講後活動できるキャラバンメイトの固定化が課題となっている。				今後に向けた 具体的な取組(A)			認知症高齢者が在宅で生活が継続できるように理解者としてのサポーターの育成を行う。キャラバンメイトについては、活動の推進のため、活動できる方の名簿の整理を行い、活動の場の提供を行っていく。		
65	認知症カフェ参加者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	550人	450人	450人	450人	200人	200人	200人	C	【設定根拠】 高齢者福祉計画
		実績値	447人	345人	141人	46人					
		達成(評価) (C)	B	B	C	C					
65	事業内容(D)	◆認知症の方やご家族等が、参加できる憩いの場として開催。知識の普及や介護負担の軽減を図る。									
	現状と課題(C)	今年度は、委託していたカフェが休止となり、直営と家族会開催のカフェ2か所で開催した。委託していたカフェの休止により、参加者数は激減している。既存のカフェはメンバーが固定化しており、新たな参加者が利用しやすいカフェを創り出すことが課題である。				今後に向けた 具体的な取組(A)			R2年度より新たに1カ所増やしたカフェは、新型コロナウイルスの関係で一度も開催できていない。今後、新たに集いの場で認知症カフェを開催できる地域に働きかけていく。		

★目標 地域での支え合いがあり、香南市に住んでよかったと思える環境づくりの推進											
66	いきいきクラブ事業参加者数(延)	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	5,700人	5,700人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人	B	【設定根拠】 高齢者福祉計画
		実績値	5,592人	5,275人	4,261人	4,184人					
		達成(評価) (C)	B	B	B	B					
66	事業内容(D)	◆地域同士の情報交換や交流による主体的な活動とボランティア等人材育成、研修会の開催等により、介護予防の取り組みへの理解を深め、高齢者を地域で支える仕組みづくりを支援することを目的に実施。①いきいきクラブ事業(地域の高齢者の介護予防活動サークルへの支援)②自主グループ運動支援事業(地域の高齢者運動サークルの活動支援)③高齢者クラブ助成事業の実施。									
	現状と課題(C)	地区お世話係(代表者)の高齢化により新たな代表者の育成が必要である。新型コロナの影響で8月～9月は全地区で活動を中止したため、実績値は例年よりも減少。感染対策として新型コロナ予防接種に関する健康教育を全地区実施。				今後に向けた 具体的な取組(A)			いきいきクラブ継続に向けて介護予防の内容が充実できるように派遣講師の紹介や、講師を呼ばなくても地区で取り組みやすい内容の研修会を企画する。またコロナ感染状況に応じて健康教育や感染対策等の支援を行っていく。		
67	シルバー人材センター登録者数	年度	H30 (基準値)	R1 (参考値)	R2	R3	R4	R5	R6	評価(C)	高齢者介護課
		目標値(P)	264人	269人	250人	250人	250人	250人	250人	B	【設定根拠】 高齢者福祉計画
		実績値	218人	213人	213人	216人					
		達成(評価) (C)	B	B	B	B					
67	事業内容(D)	◆高齢者が経験を活かせる就労を確保し、生きがいを持って活動できる場としてシルバー人材センターが設置されており、活動の周知を行い、新規会員登録の取り組みを支援する。併せて市からの委託事業の開拓等の支援を行う。									
	現状と課題(C)	近年、65～70歳といった年齢が現役で仕事をしているのが現状であり、入会してもハローワーク等で安定した仕事が見つかるかと辞めていく傾向にある。加えて今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により広報活動の機会が減少したことで、新規登録者の確保が困難になっている。				今後に向けた 具体的な取組(A)			新規会員の確保につながるように、広報等でシルバー人材センターの周知の支援を行う。		